

平成 30 年度決算の概要について

公立大学法人福島県立医科大学

1 はじめに

本法人の第 13 期（平成 30 年度）財務諸表については、令和元年 8 月 30 日付けで福島県知事の承認を受けました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、法人の財政状態や運営状況を示すものです。

2 財務諸表の概要について

(1) 財政状態（別表 1 貸借対照表参照）

資産の総額は約 840 億円で、その内訳は土地、建物、備品、機器等の固定資産合計が約 723 億 8 百万円、現金及び預金、未収附属病院収入等の流動資産合計が約 116 億 9 千 2 百万円となっています。

負債の総額は約 561 億 4 千 8 百万円で、その内訳は資産見返負債、福島県からの長期借入金等の固定負債合計が約 428 億 4 千 5 百万円、未払金、未執行の寄附金である寄附金債務等の流動負債合計が約 133 億 3 百万円となっています。

純資産の総額は約 278 億 5 千 2 百万円で、その内訳は福島県から拋出された土地、建物等である資本金が約 426 億 9 千 3 百万円、損益外減価償却累計額等の資本剰余金が約マイナス 138 億 1 千 7 百万円、繰越欠損金が約 10 億 2 千 3 百万円となっています。

(2) 運営状況（別表 2 損益計算書参照）

経常費用合計約 587 億 1 百万円から経常収益合計約 583 億 1 千 6 百万円を差し引いた経常損失は約 3 億 8 千 5 百万円で、これに臨時損失の約 1 億 9 千 7 百万円と、臨時利益約 2 百万円を加味した当期総損失は約 5 億 8 千万円となっています。

平成 30 年度は、附属病院において、診療単価の増等により過去最高となる医業収益を計上した一方で、教職員数の増等による費用の増加が法人の財務状況に影響を及ぼしています。

なお、当期総損失については、地方行政法人法第 40 条第 2 項の規定に基づき、約 5 億 8 千万円全額を繰越欠損金としています。

ア 経常費用

経常費用の構成比率は、人件費が全体の約 40.2%、診療経費が約 37.4%、その他の経費が約 22.4%となっています。

イ 経常収益

経常収益の構成比率は、附属病院収益が全体の約 55.4%、運営費交付金収益が約 17.5%、その他の収益が約 27.1%となっています。

ウ 臨時損失

臨時損失は、固定資産除売却損等で約 1 億 9 千 7 百万円となっています。

エ 臨時利益

臨時利益は、保険料収入等で約 2 百万円となっています。

3 おわりに

本法人では、平成 25 年 5 月に会津医療センター、平成 28 年 12 月にはふくしま国際医療科学センターを開設したほか、平成 29 年 7 月には手術室棟が完成し、新たな学部設置に向けて着々と準備を進めており、医療人の教育・育成や地域医療の充実・支援に積極的に取り組んでいるところです。こうした中、平成 30 年度決算において 3 期連続となる当期総損失を計上したことから、これまで以上に経営の自立・安定化に向けた取組を着実に進めていく必要があります。

引き続き、第 3 期中期計画の達成はもとより、外部資金等の更なる獲得や病院収益の向上、業務効率化による全ての経費の削減など、一層の財務基盤の充実・強化を図りながら、法人の使命をしっかりと果たしてまいります。

別表1(貸借対照表)

(単位:百万円)

区 分		第12期 (平成29年度)	第13期 (平成30年度)	増 減	区 分	第12期 (平成29年度)	第13期 (平成30年度)	増 減			
資 産 の 部	固定資産	土地	8,230	8,331	101	固定負債	資産見返負債	36,782	34,310	△ 2,472	
		建物	48,165	45,908	△ 2,257		長期寄附金債務	264	210	△ 54	
		構築物	2,149	2,030	△ 119		長期借入金	7,213	6,931	△ 282	
		工具器具備品	12,833	10,482	△ 2,351		長期リース債務	1,329	1,273	△ 56	
		図書	2,055	2,061	6		その他	97	121	24	
		建設仮勘定	45	473	428		固定負債合計	45,686	42,845	△ 2,841	
		その他	36	27	△ 9		流動負債	運営費交付金債務	-	123	123
		有形固定資産合計	73,513	69,313	△ 4,200			寄附金債務	2,133	2,311	178
		無形固定資産合計	1,121	803	△ 318			前受受託研究費等	882	777	△ 105
	投資その他の資産合計	2,372	2,191	△ 181	1年内返済予定長期借入金	1,579		1,820	241		
	固定資産合計(1)	77,006	72,308	△ 4,698	未払金	5,443		6,383	940		
	流動資産	現金及び預金	1,201	2,977	1,776	短期リース債務	340	418	78		
		未収附属病院収入	5,760	6,328	568	未払費用	432	461	29		
		その他未収入金	2,689	2,079	△ 610	賞与引当金	616	665	49		
医薬品及び診療材料		248	262	14	その他	354	345	△ 9			
その他		40	46	6	流動負債合計	11,779	13,303	1,524			
流動資産合計(2)	9,938	11,692	1,754	負債合計(3)	57,465	56,148	△ 1,317				
					純資産の部	資本金	42,439	42,693	254		
						資本剰余金	△ 12,517	△ 13,817	△ 1,300		
						利益剰余金(繰越欠損金)	△ 443	△ 1,023	△ 580		
						(うち当期総利益)	△ 1,070	△ 580	490		
						純資産合計(4)	29,479	27,852	△ 1,627		
資産合計(1+2)	86,945	84,000	△ 2,945	負債純資産合計(3+4)	86,945	84,000	△ 2,945				

[増減の主な内容]

- 1 固定資産は、実験動物研究施設の増設等により建設仮勘定が増加し、減価償却により工具器具備品等が減少しました。
- 2 流動資産は、補助金等の概算払いのため、現金及び預金が増加しました。
- 3 固定負債は、補助金等を財源として取得した固定資産の減価償却等により資産見返負債が減少しました。
- 4 流動負債は、実験動物研究施設の増設等により未払金が増加しました。

別表2(損益計算書)

(単位:百万円)

区 分		第12期 (平成29年度)	第13期 (平成30年度)	増 減	区 分	第12期 (平成29年度)	第13期 (平成30年度)	増 減	
経常費用	教育経費	903	887	△ 16	経常収益	運営費交付金収益	8,979	10,229	1,250
	研究経費	4,756	4,495	△ 261		授業料収益等	864	878	14
	診療経費	20,757	21,974	1,217		講習料収益	11	10	11
	教育研究支援経費	179	179	0		附属病院収益	30,357	32,302	1,945
	受託研究費等	4,081	4,793	712		受託研究等収益	5,489	6,337	848
	人件費	22,746	23,619	873		補助金等収益	3,633	3,705	72
	業務費合計	53,423	55,946	2,523		財源措置予定額収益	1,267	777	△ 490
	一般管理費	2,723	2,656	△ 67		資産見返負債戻入	4,096	3,621	△ 475
	財務費用	105	95	△ 10		財務収益	0	0	0
	雑損	5	4	△ 1		雑益	433	457	24
経常費用合計(2)	56,255	58,701	2,446	経常収益合計(1)	55,129	58,316	3,187		
臨時損失	固定資産除売却損	17	34	17	臨時利益	運営費交付金収益	13	-	△ 13
	その他	23	163	140		その他	21	2	△ 19
	臨時損失合計(4)	40	197	157		臨時利益合計(3)	34	2	△ 32
経常利益(5)=(1-2)		△ 1,126	△ 385	741					
当期純利益(6)=(5+3-4)		△ 1,132	△ 580	552					
目的積立金取崩額(7)		62	-	△ 62					
当期総利益(6+7)		△ 1,070	△ 580	490					

[増減の主な内容]

- 1 診療経費の増は、附属病院収益が増加したことに伴う、医薬品、診療材料等の経費の増等によるものです。
- 2 人件費の増は、教職員数の増等によるものです。
- 3 附属病院収益の増は、診療稼働の増等によるものです。
- 4 資産見返負債戻入の減は、補助金等を財源として取得した固定資産の減価償却費の減等によるものです。